

弾道ミサイル発射に係る対応

J アラートによる情報伝達と学校における避難行動

1 弾道ミサイル発射情報・
避難の呼び掛け

行動の基本「姿勢を低くし、頭部を守る。」

2 児童の安全確保
校舎内避難

<避難行動>

◎防災行政無線の警報が屋外スピーカーから流れた場合
「ミサイル発射、ミサイル発射。〇〇からミサイルが発射された模様です。建物の中または地下に避難してください。」

【屋外にいる場合】

- ・近くの校舎や体育館に避難し、床に伏せて頭部を守る。（ダンゴムシのポーズ）
- ・近くに避難できる建物がない場合には、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。（ダンゴムシのポーズ）

【屋内にいる場合】

- ・できるだけ窓から離れる。
- ・床に伏せて頭部を守る。

【教室にいる場合】

- ・防災頭巾をかぶり、机の下でサルメのポーズをとる。

A の場合・・・落下場所の情報が流れる。
屋内避難は解除
※不審なものを発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防、海上保安庁に連絡する。

B の場合・・・ミサイル通過情報が流れる。
屋内避難は解除
※不審なものを発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防、海上保安庁に連絡する。

A 日本の領海外の
海域に落下

B 日本の上空を通過

C 日本に落下する可
能性がある

C の場合

「直ちに非難。直ちに非難。直ちに建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに非難してください。」と流れる。
※直ちに非難行動をとる。（ダンゴムシのポーズ）

落下場所などについての情報が流れる。
※追加情報があるまで引き続き屋内避難を継続する。
追加情報が流れる。